

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会基準日	3月31日
単元株式数	1,000株
剰余金配当基準日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
証券コード	3105
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.nisshinbo.co.jp/">http://www.nisshinbo.co.jp/</a> ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株式に関する 住所変更等 のご照会および お届出について	株式に関するお手続き(届出住所・姓名などの変更、配当金の振込方法・振込先の変更、単元未満株式の買取・買増の請求など)のご照会および届出につきましては、証券会社での口座開設の有無に応じて、いずれかの窓口にご連絡ください。 <b>【証券会社で口座を開設されている株主様】</b> ……当該証券会社にご連絡ください。 <b>【証券会社で口座を開設されていない株主様】</b> ……三菱UFJ信託銀行(特別口座管理機関)にご連絡ください。  TEL 0120-244-479 (通話料無料:24時間受付) ホームページ <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

## 日清紡ホールディングス株式会社

〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町2-31-11  
TEL 03-5695-8833(代) FAX 03-5695-8970  
<http://www.nisshinbo.co.jp/>



# 第168期 [中間期] 株主通信

2010年4月1日～2010年9月30日



## 株主の皆様へ

「環境」と「エネルギー」。  
日清紡グループは、  
新しい成長戦略を加速します。



日頃より当社グループへのご理解とともに厚いご支援を賜り、誠にありがとうございます。

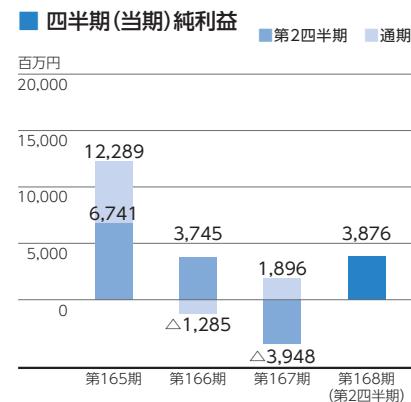
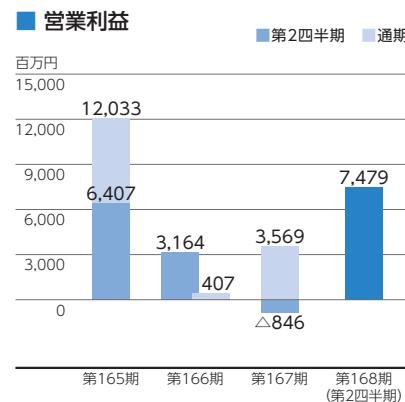
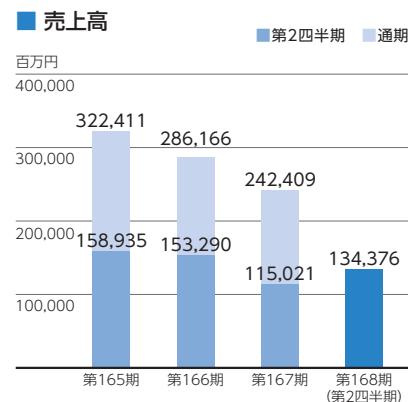
当社グループは、2009年4月に持株会社体制へ移行してから2年目を迎えました。経営環境もどんどんスピードを上げながら変化しており、企業にとって、過去・現在の単純な延長線上に未来はありません。

当社グループは、「企業は公器」という考えのもと、変化を先取りする企業グループとして連続性にこだわらない事業領域も視野に入れ、環境・エネルギー事業で更なる飛躍を目指します。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

鷲崎 静  
(う ざわ しずか)



## 当第2四半期(中間期)業績について

当第2四半期(中間期)における経済環境は、景気は緩やかな回復傾向をたどり、企業収益も改善しつつありますが、急激な円高や世界経済の減速懸念など、景気の下ぶれリスクが強まっています。

こうした中で当社グループは、環境・エネルギー分野の事業拡大やグローバル展開の推進、既存事業の見直しなどを行ってきました。その結果、エレクトロニクス製品事業や精密機器事業が営業利益の黒字転換を果たし、繊維事業の業績改善やブレーキ製品事業も業績を伸ばしたことなどにより、増収増益となりました。

### [連結業績]

- 売上高 134,376百万円(前年同期比16.8%増)
- 営業利益 7,479百万円(前年同期比8,326百万円の改善)
- 経常利益 9,436百万円(前年同期比8,880百万円増)
- 四半期純利益 3,876百万円(前年同期比7,825百万円の改善)

## 業績目標達成に向けて

当社グループは、当期から新経営3ヵ年計画「Challenge2012」をスタートさせ、2018年3月期(2017年度)までにROE9%超、売上高6,000億円超という長期業績目標を掲げています。

業績目標を達成するために、保有資産を活用した不動産事業で得られる利益等により、東アジアを中心とした投資を増やし、環境・エネルギー事業を成長させるとともに、事業拡大のスピードを速めるM&Aも実施いたします。

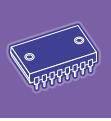
11月8日、日本無線(株)株式の公開買付け(TOB)を公表いたしました。このTOBは同社の子会社化を目的とするものであり、当社グループとの連携を深め、それぞれの持つコア技術を活用することにより、環境・エネルギー事業にWin-Winの関係が構築できるものと確信いたします。

また、こうして広がる事業を経営できる若い経営者を育成することが重要だと考え、若手を取締役に抜擢し、グループ経営の活力を高めていきます。

これからも当社グループは、持株会社体制のもと、「環境カンパニー」としてグローバルに事業の「選択と集中」を進め、ますます新たな市場や事業に挑戦していきます。

## 日清紡グループの事業概要

日清紡ホールディングス(株)

		製品紹介
	<b>繊維事業</b> 日清紡テキスタイル(株)	シャツ(「アポロコット」、ドレスシャツ、カジュアルシャツ、生地) テキスタイル(ユニホーム地、寝装品、カジュアル地) デニム(ジーンズ地)、ニット(ニット製品、生地) 不織布(「オイコス」、ポリウレタン弾性繊維(「モビロン」))
	<b>ブレーキ製品事業</b> 日清紡ブレーキ(株)	摩擦材(ブレーキライニング、ディスクパッド) アセンブリ製品(ドラムブレーキ製品)
	<b>紙製品事業</b> 日清紡ペーパー プロダクツ(株)	家庭紙(ティシュペーパー、トイレットペーパー、キッチンタオル) 洋紙(ファインペーパー、合成紙) 紙加工品(電報製品、高級パッケージ、広告関連製品、カード製品、写真台紙製品)
	<b>精密機器事業</b> 日清紡メカトロニクス(株)	太陽電池製造設備(太陽電池モジュールラミネータ、ソーラシミュレータ、EL検査装置、端面剥離装置) 専用機(航空機向け専用機、自動車向け専用機、特殊プレス) 精密部品加工、プラスチック成形品
	<b>化学品事業</b> 日清紡ケミカル(株)	硬質ウレタンフォーム(「エアライトフォーム」) ウレタンエラストマー(「モビロン」)、カーボン製品 高機能性樹脂素材(「カルボジライト」) 燃料電池セパレーター
	<b>エレクトロニクス製品事業</b> 新日本無線(株)	半導体製品(半導体集積回路、光半導体デバイス) マイクロ波管・周辺機器(マイクロ波電子管、レーザーコンポーネント) マイクロ波応用製品(衛星通信用コンポーネント) 無線通信機器(車載無線通信機器)
<b>不動産事業</b>		

## 事業別売上比率



繊維事業	21.5%	化学品事業	2.7%
ブレーキ製品事業	17.4%	エレクトロニクス製品事業	22.2%
紙製品事業	11.1%	不動産事業	3.9%
精密機器事業	11.5%	その他事業	9.7%

## ブレーキ製品事業



<b>売上高</b>	<b>23,369</b> 百万円	↑
	(前年同期比33.4%増)	
<b>営業利益</b>	<b>2,876</b> 百万円	↑
	(前年同期比255.4%増)	

エコカー補助金効果による国内自動車販売の増加や新興国を中心とした海外需要の回復などにより、増収・増益

**【ポイント】**  
○国内・アジアともに自動車需要が回復

## 繊維事業



<b>売上高</b>	<b>28,872</b> 百万円	↑
	(前年同期比9.8%増)	
<b>営業損失</b>	<b>157</b> 百万円	↑
	(前年同期比1,217百万円の改善)	

高付加価値品の販売増や海外生産品の拡充、ブラジル・インドネシアでの海外事業の好調などにより、増収・損失縮小

**【ポイント】**  
○綿100%ノーアイロンシャツ「アポロコット」が好調

## 紙製品事業



<b>売上高</b>	<b>14,982</b> 百万円	↓
	(前年同期比1.8%減)	
<b>営業損失</b>	<b>56</b> 百万円	↓
	(前年同期比956百万円の悪化)	

洋紙の紙加工品は好調だったものの、家庭紙の販売価格の下落や原料パルプの高騰などにより、減収・減益

**【ポイント】**  
○写真台紙・パッケージなどの紙加工品は好調  
○パルプ高騰による原料費増加が利益を圧迫

## 精密機器事業



売上高

**15,475**百万円  
(前年同期比26.4%増) ↑

営業利益

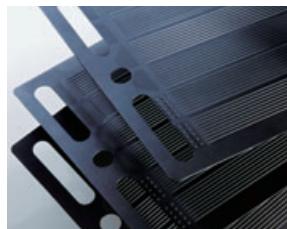
**745**百万円  
(前年同期比870百万円の改善) ↑

太陽電池製造装置の販売回復や自動車需要回復による精密部品の売上増、コスト削減などにより、増収・増益

### 【ポイント】

○自動車向けの精密部品加工・プラスチック成形品が好調

## 化学品事業



売上高

**3,616**百万円  
(前年同期比17.6%増) ↑

営業損失

**147**百万円  
(前年同期比106百万円の改善) ↑

半導体需要の回復によるカーボン製品の好調や電気二重層キャパシタの建機分野への展開などにより、増収・損失縮小

### 【ポイント】

○燃料電池セパレータは売上増

## エレクトロニクス製品事業



売上高

**29,880**百万円  
(前年同期比25.1%増) ↑

営業利益

**1,238**百万円  
(前年同期比3,873百万円の改善) ↑

国内・海外ともに半導体需要の回復による販売増や事業の効率化・合理化などのコスト削減により、増収・増益

### 【ポイント】

○オペアンプ・コンパレータや電源用ICが好調

## 不動産事業



売上高

**5,276**百万円  
(前年同期比72.5%増) ↑

営業利益

**4,360**百万円  
(前年同期比47.4%増) ↑

工場跡地再開発事業の一環として宅地販売を開始したことなどにより、増収・増益

### 【ポイント】

○宅地販売事業の強化

## 特集:グローバル戦略

日清紡グループの事業拠点は東アジアを中心に世界へと広がっていきます

### ●精密機器事業:アジアでの製造・販売を強化

現在、アメリカ・オランダ・台湾に、太陽電池製造装置の販売・メンテナンス拠点を展開しております。今後、東アジアを中心としてグローバル展開を推進するため、今年6月、中国の合併関連会社を子会社化し、日清紡亜威精密機器(江蘇)有限公司としてスタートしました。

これを機に、同社で太陽電池製造装置の製造・販売を開始し、中国を中心としたアジアのお客様に対するサポートを強化します。



新工場着工式

### ●ブレーキ製品事業:中国に新たな拠点

現在、アメリカ・タイ・韓国・中国にブレーキ製品事業の拠点を置いておりますが、中国市場の拡大にそって、今年7月に新たな自動車用摩擦材の製造・販売拠点として中国江蘇省に日清紡賽龍(常熟)汽車部件有限公司の設立を決定しました。

今後も世界中の各地域のお客様への対応力を高めるために積極的にグローバル化を進めてまいります。



調印式

### ●繊維事業:生産拠点を海外に大きくシフト

アジア市場の成長に対応するため、国内の生産能力をインドネシア・中国・インドへと移転しています。

日清紡インドネシアでは、染色加工工場にインドネシア初となるノーアイロンシャツ地などの加工設備を導入し、ニカワテキスタイルでも、紡績設備を増強するとともに、最新鋭の織布工場を建設中です。また今年7月には、中国(常州)に染色加工の子会社を、インドネシアにデニム製造の関連会社を設立しました。

海外生産において「日清紡クオリティ」に磨きをかけ、お客様の期待に応えてまいります。



日清紡インドネシア

## トピックス

### 環境貢献

#### 島田事業所に当社グループ製太陽電池パネルを設置

当社グループでは、「環境カンパニー」を目指す一環として、このたび日清紡メカトロニクス(株)で製造した太陽電池パネル1,400枚を使用して、島田事業所(静岡県島田市)に発電容量250kWの太陽光発電システムを導入いたしました。

これは、美合工機事業所(愛知県岡崎市)に次いで2例目であり、2つの事業所の発電容量を合わせると500kW、年間予測発電量は518,782kWhとなり、一般家庭の約110世帯分に相当します。

当社グループは、精密機器事業の主力製品である太陽電池製造装置を使用し、実際にパネルを生産・設置することにより得られる知見・ノウハウを、製造装置などの開発に活かしています。

他の事業所でも太陽電池パネルの設置を進めるとともに、優れた技術を開発し太陽電池の普及を促進することにより、地球環境に貢献してまいります。



島田事業所に設置した太陽電池パネル

### 社会貢献

#### 「緑の募金」を通じて全国の森林づくりに貢献

当社グループは、事業活動を通じて人間社会に貢献する企業をモットーに地球環境保全に取り組んでいます。

今回で3回目となった環境貢献型株主優待「緑の募金」もその一環です。2010年度は、114名の株主様より計342,000円分のお申し込みがありました。これに当社グループの従業員と当社からの寄付を加えて、総額100万円を9月16日、(社)国土緑化推進機構に寄付しました。

## 中間連結財務諸表の要旨

### ■連結貸借対照表の要旨

単位:百万円(未満切捨)

科 目	当第2四半期末 (2010年9月30日)	前 期 末 (2010年3月31日)	科 目	当第2四半期末 (2010年9月30日)	前 期 末 (2010年3月31日)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	135,626	130,606	流動負債	90,261	94,367
固定資産	210,175	227,503	固定負債	68,278	70,104
有形固定資産	112,405	114,725	<b>負債合計</b>	<b>158,539</b>	<b>164,471</b>
無形固定資産	4,474	4,435	<b>純資産の部</b>		
投資その他の資産	93,295	108,341	株主資本	174,605	171,519
			評価・換算差額等	1,404	11,471
			新株予約権	179	155
			少数株主持分	11,071	10,491
<b>資産合計</b>	<b>345,801</b>	<b>358,109</b>	<b>純資産合計</b>	<b>187,261</b>	<b>193,638</b>
			<b>負債及び純資産合計</b>	<b>345,801</b>	<b>358,109</b>

### ■連結損益計算書の要旨

単位:百万円(未満切捨)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)
<b>売上高</b>	<b>134,376</b>	<b>115,021</b>
売上原価	107,695	97,215
売上総利益	26,681	17,805
販売費及び一般管理費	19,201	18,652
<b>営業利益又は営業損失(△)</b>	<b>7,479</b>	<b>△846</b>
営業外収益	2,647	2,258
営業外費用	691	855
<b>経常利益</b>	<b>9,436</b>	<b>556</b>
特別利益	915	1,403
特別損失	3,090	1,466
税金等調整前四半期純利益	7,260	493
法人税等	2,935	8,239
少数株主損益調整前四半期純利益	4,324	-
少数株主利益又は少数株主損失(△)	447	△3,797
<b>四半期純利益又は四半期純損失(△)</b>	<b>3,876</b>	<b>△3,948</b>

### ■連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

単位:百万円(未満切捨)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,807	13,222
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,761	△6,355
財務活動によるキャッシュ・フロー	198	△18,577
現金及び現金同等物に係る換算差額	△873	1,091
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,371	△10,618
現金及び現金同等物の期首残高	17,768	29,202
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	5	24
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,145	18,608

### ■中間配当について

当期の中間配当金については下記のとおり決定いたしました。

1. 中間配当金 1株につき金7円50銭
2. 中間配当の効力発生日ならびに支払開始日 2010年12月3日(金)

## 日清紡グループのネットワーク (2010年9月30日現在)

### 主なグループ会社

#### 繊維事業

日清紡テキスタイル(株)  
CHOYA(株)  
日清デニム(株)  
(株)ナイガイシャツ  
ニカワテキスタイルインダストリー  
日清紡インドネシア  
ブラジル日清紡  
日清紡績(上海)有限公司

#### ブレーキ製品事業

日清紡ブレーキ(株)  
日清紡ソンプーンオートモーティブ  
セロンオートモーティブ  
日清紡オートモーティブマニュファクチャリング  
賽龍(北京)汽車部件有限公司

#### 紙製品事業

日清紡ペーパー プロダクツ(株)  
東海製紙工業(株)  
日清紡ポスタルケミカル(株)  
大和紙工(株)

#### 精密機器事業

日清紡メカトロニクス(株)  
日清紡精機広島(株)  
日清紡アルプステック(株)  
日清紡メカトロニクス(上海)有限公司  
タイ高分子

#### 化学品事業

日清紡ケミカル(株)  
(株)日新環境調査センター

#### エレクトロニクス製品事業

新日本無線(株)  
上田日本無線(株)

#### 不動産事業・その他事業

日清紡都市開発(株)  
ヨーロッパ日清紡  
ニッシン・トーア(株)  
岩尾(株)

#### グループの主要な拠点

大阪支社(大阪府)、名古屋支店(愛知県)  
島田事業所、藤枝事業所、浜北精機事業所、富士事業所(静岡県)  
美合事業所、美合工機事業所、豊田事業所(愛知県)  
徳島事業所(徳島県)、館林事業所(群馬県)  
旭事業所、千葉事業所(千葉県)  
川越製作所(埼玉県)  
中央研究所(千葉県)

## 会社の概要 (2010年9月30日現在)

### 会社概要

会社名 日清紡ホールディングス株式会社  
英文社名 Nisshinbo Holdings Inc.  
設立 1907(明治40)年2月5日  
資本金 27,587,976,204円  
従業員数 235名(単体)、12,643名(連結)  
本社 〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町2-31-11

### 取締役・執行役員

取締役会長 岩下 俊士	取締役員 中野 裕嗣
取締役社長*1 鶴澤 静	取締役員 萩原 伸幸
取締役専務執行役員 竹内 伸二	取締役*2 秋山 智史
取締役専務執行役員*1 恩田 義人	取締役*2 花輪 俊哉
取締役常務執行役員 五十部 雅昭	取締役*2 加藤 紘二
取締役常務執行役員 河田 正也	執行役員 木島 利裕
取締役執行役員 村上 雅洋	執行役員 馬場 一訓

\*1は代表取締役 \*2は社外取締役

### 監査役

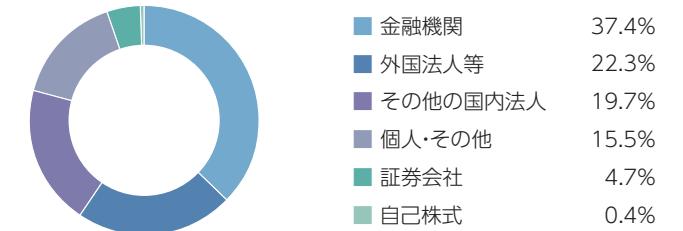
常勤監査役 井出 義男 監査役\* 川上 洋  
常勤監査役 佐塚 政男 監査役\* 富田 俊彦  
\*は社外監査役

## 株式の概況 (2010年9月30日現在)

### 株式状況

発行可能株式総数 371,755,000株  
発行済株式総数 178,798,939株  
株主数 13,588名

### 所有者別株式分布状況



## Webサイトのご紹介



当社ホームページでは、当社のイメージキャラクターである佐倉絵麻さんを起用したスペシャルサイトをはじめ、IR情報も充実させ、豊富なインフォメーションを掲載しております。どうぞご利用ください。

<http://www.nisshinbo.co.jp/>